

# トイレ整備の全体計画策定を

私が所属する総務常任委員会審査が11日、12日と行われました。私は、公共施設におけるトイレ整備、新市長が目指す市民との対話集会などで質問を展開しました。

このうち、公共施設におけるトイレ整備については、小菅新市長の公約のひとつです。現在、575の公共施設にトイレがあるそうです。

私はこれらの施設のうちトイレの改修などが必要な所で整備を促進していくには、中心になる担当課が必要であり、そこが責任を持って全体整備計画を策定すべきでないかと訴えました。

これに対して行政側は、現在、用地管財課と多文化共生課が中心になって整備を進めているとし、全体的整備計画の必要性も認めました。新年度予算では、市民対話事業費



が282万円計上されています。

私は、「歴代の市長が市民との対話集会を行ってきたが、それぞれ特徴があった。小菅市長の場合はその点どうなのか」「市民との対話集会は説明会のようなものとは違い、時間をかけてじっくり声を聞くことが求められる」と質問しました。

担当課長は、「地域に向いて、多くの市民の声を聞いていく。冒頭、市長から市政報告を行い、その後、ゆっくり対話していく。新年度は合併前上越市の地域で3か所、13区でそれぞれか所開催する予定だ」と答えていました。

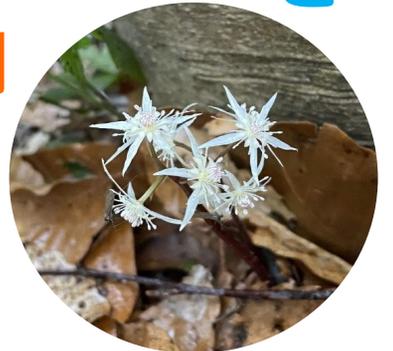
私以外の委員からも「合併前上越市のエリアで3か所は少なすぎるのではないか」「対話集会では、予定した時間まであと一人などと言わず、市民とゆっくり時間をかけて対話することが大事だ」などの声も上がりました。

市役所職員の健康管理・安全衛生管理については、健康診断やストレスチェックの実施にあたっては数値目標が必要だとのべた上で、「ストレスチェックで『高ストレス判定』された職員数、面談指導を受けた人数はどうなっているか」と質問しました。

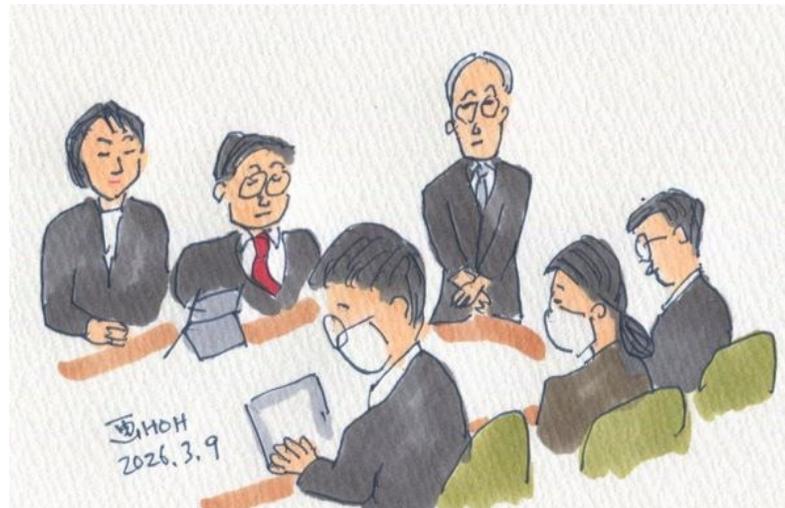
担当課長は「100%実施を目標に取り組んでいる。ストレスチェックで『高ストレス』と判定された職員は251人(全体の9.1%)で、そのうち13人が面談指導を受けた」と答えていました。

近年はハラメントが多くなっているだけに、メンタル面での健康管理がますます重要になっています。

## 教員不足、外部講師などで質問



【オウレン】キンポウゲ科の多年草。漢字で「黄連」と書きます。キクザキイチゲと同じ時期に咲くので、毎年楽しみにしている花の一つです。いつも地元のお寺で見っていますが、今回は吉川区の竹直で先に見かけました。花は白く、ダイヤモンドソウと似ていますが、形が違います。花期は2月から4月。花言葉は「変身」「胃腸をお大事に」。写真は10日に撮影しました。



文教経済常任委員会審査で日本共産党議員団の上野議員は、教員不足の実態、外部講師の活用などで質問をしました。

「全国的に教員不足が深刻化している。上越市はどうなっているか」との上野議員の質問に早川教育長は「現在、非常勤講師の活用などで対応している」と答えていました。

上野議員はまた、「児童生徒が学力を高めることも大事だが、社会の様々な大人と出会いも大事だ」として地元にいる外部講師の積極的な活用と支援を訴えました。早川教育長は、「大事なことだ。拡充の方向で検討していきたい」とのべていました。



市教育委員会は10日、吉川区のコウノトリのペア(夫婦)が3月3日から巣で抱卵(卵を産み終えて温めに入った状態)を始めたと発表しました。

抱卵は3年連続です。今年は2月に巣をつくり直しながら何度も交尾をしていました。抱卵までに新しい巣が出来上がるか心配でしたが、間に合いました。順調にいくと4月6日頃にヒナが誕生する予定です。写真は12日撮影。

# はしづめ法一の活動レポート

**No.2243 2026.3.15**  
 発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3627  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
 URL <https://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら  
  
 橋爪法一 検索

# 春よ来い

## 第八九〇回 いっものように

いつものように、カニ池公園のところから左にハンドルを切るところでした。三月九日の午後二時頃のこゝです。

この日は大島区出身、吉川区東鳥越在住だった従姉（いとこ）が亡くなった翌日でした。市役所で一般質問の打ち合わせや委員会傍聴を済ませ、市役所から三田新田方向に車を走らせていました。

カニ池交差点を過ぎ、公園の端っこ付近で車のスピードを落としてから気づきました。「そつだ、鳥越の母ちゃんは今もうあそこの施設にはいないんだ」。そう思い、スピードを元に戻すまで一瞬のこゝでした。

考えてみれば、終末期を迎えた人が穏やかに最期の時を過ごせるよう支援する施設（以降、「ホスピス」と書きます）に従姉が入所したのは昨年十二月でした。以来、市役所や直江津に用事があるときは、ホスピスに寄るように心がけました。週に二、三回は寄せてもらったと思います。

車を運転している人なら誰でも経験していると思いますが、通勤などで通いなれた道は体が覚えていて、無意識のうちにハンドルを切ってしまうことがあります。三か月以上も通っていたホスピスへの道は私の脳に刷り込まれていたんですね。

いつものように、カニ池公園のところまでハンドルを左に切れば、ホスピスまで一分足らずです。

玄関チャイムを鳴らして中に入れてもらい、手洗い、体温測定、面会申込用紙の記入へと進みます。そして受付の方に申込用紙を渡します。たいがいOさんが受け取ってくださいました。名札がついていましたので、何人かのスタッフの名前まで覚えてしまいました。「お願いします」とひと声かけてエレベーターに乗ります。

いつも丁寧に対応してくださる受付のOさんは吉川区と関わりのある方で、私のことや私の長女についてもご存じでした。こ

の三月になって初めて知ったことです。従姉の長男から聞いたことですが、スタッフの何人かは私のことを「コウノトリの人」と呼んでくださっていたようです。

いつものように、エレベーターで二階に上がれば、従姉の部屋まで十数分です。ドアをノックして部屋に入ると、従姉はベッドに横たわっていました。

このホスピスは昨年オープンしたばかりということもあって、明るくて快適です。部屋に入るとまず、「母ちゃん、来たよ。元気だったかね」と声をかけて髪を何度もなでました。寝ていることが多かったのですが、それで目を開けることもありました。調子の良いときは、「おれ、わかるかね、ノリカズだよ」と声をかけるとうなずいてくれました。

目を開けてくれれば、従姉が喜ぶものを見せてあげなければと思います。スマートフォンを取り出し、尾神岳、すでに亡くなった私の母の写真などを毎回のように見てもらいました。

時間があるときは動画も映し出しました。一番多く観てもらったのは、「コミュニケーションバンド・ピアスの『かちやの歌』」です。私も作詞にかかりました。生前、従姉が私の母と一緒に過ごしたころ、よく見ていた母の笹採り、漬物、押し寿司などが出ている動画はよく見られました。

八日は父や母の月命日であり、叔父の祥月命日です。今年の三月八日も忘れられない日になりました。従姉がそれこそスーッと息を引き取り、ホスピスに別れを告げた日となったからです。

葬儀屋さんの車に従姉を乗せ、ホスピスを離れる最後、従姉の長男が「ここに入れてもらってよかったです」と言うと、スタッフのみなさん全員が玄関の外に出て頭を深く下げてくださいました。もう来れないと思うと、なぜかさみしくなりました。

## 絵本『へいわってすてきだね』の朗読



沖縄の県民大集会で安里有生さんが読んだ『へいわってすてきだね』という平和を訴えた詩、子ども向けの絵本になっているとは知りませんでした。

先日、上野公悦市議の「新春の集い」に参加して、この絵本の朗読を聴くことができました。

世界各地で戦争が起きているときです。「これから、ずっとへいわがつづくように、ぼくも、ぼ



くのできることからがんばるよ」。子どもの目を見た戦争と平和への思い、大切にしたいものです。



## 素敵な光景

バスに向かって深々と頭を下げる県立吉川高等特別支援学校の女子生徒2人。先日の朝、学校下のバス停で見かけました。素敵な光景に出合って、うれしくなりました。

## 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	3月4日(水)	3月11日(水)
上越消防署	0.053	0.050
上越南消防署	0.047	0.047
新井消防署	0.050	0.057
頸北消防署	0.057	0.050
頸南消防署	0.060	0.063
東頸消防署	0.057	0.050
名立分遣所	0.060	0.050
高士分遣所	0.057	0.053